

# 研究計画申請書

令和 8 年 5 月 29 日

地域医療機能推進機構三島総合病院  
研究倫理委員会委員長 様

申請者名 山口 君子  
(研究実施責任者)



\* 受付番号 R8-03

注意事項 \*印欄は記入しないこと

<p>1. 研究課題名 退院サマリーにおける在宅支援情報の不足事項の抽出に関する研究 ～サブテーマ～ 退院後訪問を通して在宅支援に必要な情報を明確化する</p>
<p>2. 共同研究者 (氏名及び所属) 渡邊登実 4階地域包括ケア病棟 小川麻由美 4階地域包括ケア病棟</p>
<p>3. 研究などの概要 研究の目的: 退院後訪問で得られた情報をもとに在宅支援において不足している退院サマリー情報を明らかにし、必要な情報項目を整理することを目的とする。</p>

4. 研究などの対象、実施場所及び期間

研究対象者：

地域包括ケア病棟から自宅へ退院した患者およびその家族、ならびに退院後訪問に参加する看護師を対象とする。

実施場所：

地域包括ケア病棟から自宅退院した患者の自宅

研究期間：

2025年6月～2027年2月

**5. 研究の対象となる個人の人的擁護**

研究対象者には研究参加は自由意志であり、参加を拒否しても不利益を受けないことを説明する。また研究参加後であっても途中で同意を撤回できることを保証する。患者・家族が研究参加を拒否した場合でも通常の医療・看護に影響はない。看護師においても研究参加の有無によって勤務上の不利益をうけることはない。

**6. 個人情報の保護**

収集したデータは匿名化し患者の氏名、ID、看護師氏名など個人を特定できる情報は削除したうえで分析を行う。得られた情報は研究目的以外には使用せず、研究終了後には破棄する。

**7. 対象者（本人及び家族）に理解を求め、同意を得る方法****【患者・家族】**

患者・家族には「退院後訪問指導説明書」を用いて口頭で説明し同意を得る。説明者氏名、患者・家族の署名、説明日および同意日を同意書に記載する。

**【病棟看護師】**

病棟看護師には研究目的および方法を文書で説明し、参加希望者から研究参加同意書を取得する。

**8. 研究によって生じる対象者への不利益と医学上の利益または貢献度の予測**

本研究による身体的侵襲、患者の不利益はない。

退院後訪問を通じて在宅生活上の課題を把握することができる。

在宅支援に必要な退院サマリー情報が明確となり、今後の退院支援の質向上につながることを期待される。

**9. その他**